

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。
謹白



項目名

● リポ蛋白(a) (Lp(a))/ラテックス凝集比濁法 (依頼コード No.14157)

受託開始日 2025年3月1日(土) ご依頼分より

リポ蛋白(a)はLDLよりも若干大きい粒子で、電気泳動像ではLDLとVLDLの中間帯として検出されます。脂質組成はLDLと類似しており、蛋白部分はアポB-100とアポ(a) (シアル酸に富む糖蛋白で、プラスミノーゲンの類似物質)がS-S結合した構造となっています。リポ蛋白(a)は血中濃度が遺伝により決定されるリポ蛋白であり、動脈硬化の独立した因子と考えられています。

この度、現在受託している免疫比濁法と同等の性能を有するラテックス凝集比濁法での受託を開始いたします。

●既に弊社Information No.2025-1にてご案内しましたとおり、現行のリポ蛋白(a) (依頼コード No.00489)は、2025年3月31日(月)ご依頼分をもって検査の受託を中止させていただきます。

裏面に続きます

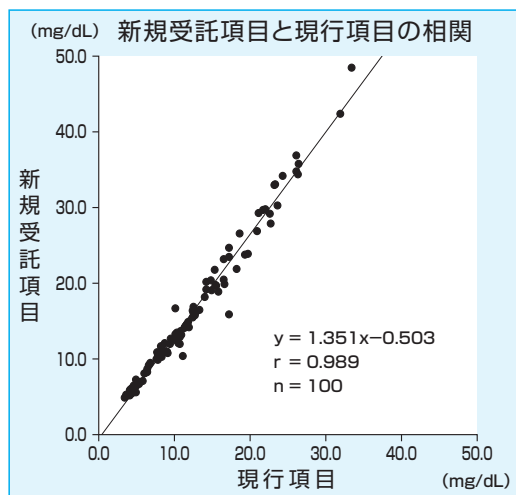
受託要領

	新規受託項目	ご参考：現行項目
依頼コードNo.	14157	00489
検査項目名	リポ蛋白(a)	同左
統一コード	3F156-0000-023-062	5F156-0000-023-061
検体必要量	血清 0.5mL	同左
容器	B-1 → S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2~3	同左
検査方法	ラテックス凝集比濁法	免疫比濁法
基準値	30.0以下	40.0以下
単位	mg/dL	同左
報告範囲	1.0未満~最終値	3.0以下~1000.0
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	107点/144点(生化学的検査(I))	同左

【検査方法の参考文献】

間瀬浩安, 他: 日本臨床検査自動化学会会誌 21, 91-96, 1996.

ご参考：相関図



自社検討資料